

卒業研究作成にあたっての注意事項

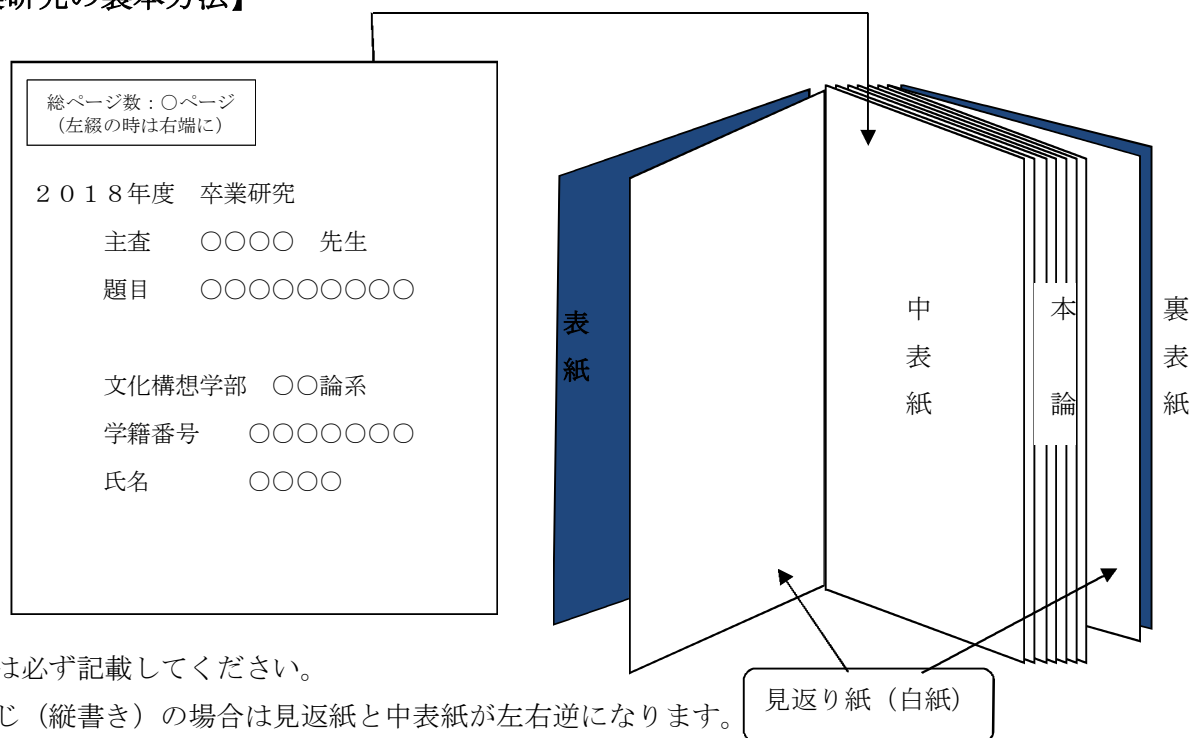
文化構想学部

卒業研究は以下のルールに従って作成（製本）してください。

- ① 製本はハードカバー製本（上製本）またはソフトカバー製本（くるみ製本）とする。
※ただし複合文化論系はハードカバーで統一。
※映像作品など創作が主体の卒業研究の場合は、それに添付するレポートは簡易製本（紐綴じ・ステイプル製本等）でも可とする。
- ② 用紙サイズは A4 または B5 とする。
- ③ 表紙に必要事項を記載した「卒業研究表紙シール」を貼りつける。
※表紙シールは配布期間に文学学院事務所にて配付します。

別途、指導教員の指示がある場合は、その方法に従ってください。

【卒業研究の製本方法】



* 目次は必ず記載してください。

* 右綴じ（縦書き）の場合は見返し紙と中表紙が左右逆になります。
論文が縦書きの場合は、題目・主査（副査）・氏名等は縦書きでも結構です。

* 以下によくある質問を記載します。参考にしてください。

Q. 製本を行う業者の指定はありますか？

A. 特にありません。大学生協や商店街にある文房具屋さんなどでも受け付けています。

Q. 文字数・ページ数の決まりはありますか？

A. 学部全体で定めた数値はありませんが、論系で指定されている場合がありますので、指導教員に確認してください。

Q. 事務所に題目を提出する必要はありますか？

A. 文化構想学部の学生は必要ありませんが、論系で提出を求めている場合がありますので、指導教員に確認してください。

Q. ゼミ論文の提出はどうなっていますか？

A. ゼミ論文の提出は、指導教員に直接行います。提出日・提出方法は指導教員に確認してください。

以上